

新刊!

バルトーク 没後70年

バルトーク・ベーラ・ヴィクトル・ヤーノシュ(Bartók Béla Viktor János)

バルトークの民俗音楽の世界

子供のためのピアノ作品を題材に

パップ晶子 著

バルトークが作曲の基礎とした民俗音楽の世界をもっと知りたい、《子供のために》をレッスンでどう取り上げてよいかわからない、というピアノ学習者や指導者に。



《子供のために1, 2》や《ルーマニア民俗舞曲》など、バルトークの子供のためのピアノ作品を題材に、ハンガリー、ルーマニア、スロヴァキアの民俗音楽の基礎を解説。

各作品の元となる民謡の歌詞訳や譜例を豊富に掲載。旋律構造、音階、音程、リズム、イントネーション、拍子、歌詞の意味などを分かりやすく説明しています。写真や図版を多数用いて民俗音楽をベースとした作品を自発的、積極的に楽しむ力を養います。

A5判・152頁
定価(本体1850円+税)



ピアニストでもある著者による演奏アドバイスも満載。バルトーク作品に取り組む際の、多様な「気づき」を促す、待望の一冊です。著者は日本におけるバルトーク研究の第一人者、パップ晶子氏。

パップ晶子

桐朋学園大学ピアノ科卒業。ハンガリー政府奨学金を得てリスト音楽院に留学。現在もハンガリー科学アカデミー・バルトーク資料館をしばしば訪れ、バルトーク研究を続けるかたわら、レクチャー・コンサートも精力的に行う。バルトーク研究を末吉保雄、ラースロー・ショムファイ各氏に師事。現在、鎌倉女子大学准教授。音楽之友社刊「バルトークピアノ作品集1~3」「子供のために1・2」「マイクロコスモス1~6」「戸外にて」の編集も手がける。